

西部小だより

令和4年12月9日(金) NO8
軽井沢町立軽井沢西部小学校
(文責：教頭)

みんなでつくった 音楽会

11月1日(児童鑑賞日)、11月2日(保護者鑑賞日)と、音楽会を開きました。

一人一人が精一杯歌い、演奏し、友だちと心を合わせました。自分のパートや役割への責任を果たそうとがんばる姿(じぶんでかんがえ)、友だちと励まし合って練習し、呼吸を合わせようとする姿(みんなでつくる)姿が見られました。子どもたちの素直でのびやかな歌声と音色が体育館いっぱいに響きました。友だちや先生とつくりあげた素晴らしい音楽会となりました。

保護者の皆様からいただいた大きなあたたかな拍手は、子どもたちのこれからの学校生活のエネルギーとなることと思います。本当にありがとうございました。



1年生：音楽劇「さんびきのセイブタ」

1年生は、「さんびきのこぶた」のお話をもとに、西部小のキャラクター「セイブタ」を主人公にした音楽劇を創りました。オオカミや子ヤギも登場し、音楽に合わせた歌や鍵盤ハーモニカ演奏でお話が進んでいきました。

元気いっぱい歌い、演奏することができました。



2年生：斉唱「崖の上のポニョ」

合奏「山の上のポルカ」

ジブリ映画「崖の上のポニョ」は振り付けを入れ、体を動かしながら歌いました。楽しそうな姿に聞いている人も笑顔になりました。合奏の「山のポルカ」では5本の指を上手に動かし、鍵盤ハーモニカの音色を、みんなでそろえようと頑張りました。

金管クラブ：合奏「威風堂々」

コロナ感染レベルが上がると、思うように練習をすることができなかった金管クラブですが、一人一人が自分の楽器のパート練習をがんばり、今年始めて、全校の前で演奏を披露することができました。緊張したという感想も聞かれましたが、堂々とした演奏で立派でした。



3年生：斉唱「にじ」

リコーダー奏「小さな世界」

雨のあとに虹ができるように、いつかきっと心が晴れていいことがあるよ！そんなメッセージの伝わる斉唱でした。初めて挑戦したリコーダーでしたが、出にくい低い音や高い音もきれいに響いていました。心を合わせて、演奏することができました。



4年生：部分二部合唱「怪獣のバラード」
合奏：「スーパーカリフラジリスティック
エクスピアリドーシャス」

4年生は部分二部合唱へのチャレンジをしました。音の重なりと高音の響きが素晴らしい合唱となりました。合奏は、リズムをみんなで合わせることを意識して心を合わせがんでいる気持ちが伝わってくる演奏でした。

5年生：部分二部合唱「変わらないもの」
合奏 惑星より「木星」

合唱は、歌詞の意味が聴いている人に伝わってくるような心のこもった合唱でした。合奏は、一人一人がしっかりと自分のパートを奏で全体が迫力のあるものになりました。



6年生：二部合唱「花は咲く」
合奏：アルルの女より「ファランドール」

修学旅行で東北を訪れ、東日本大震災について学習を重ねてきた6年生。「花は咲く」の歌声には、実際に東北へ行き学んできた6年生だからこそ、深みのある歌声になったのだと思います。合奏は誰もが聞いたことのある「ファランドール」。ピタリと合った時の迫力が素晴らしい演奏でした。



150周年 記念植樹を行いました

11月25日（金）創立150周年を記念した植樹を行いました。150歳になった西部小へのプレゼントを感じながら、木を大切に育てたいと願って計画しました。低学年は校舎南側のロータリーの芝生の中に「紅白のヤマボウシの木」を1本ずつ植樹です。自分の手で土をすくって、根元にかけて…何かをつぶやきながら作業する姿もありました。2年位で花が咲くと…毎日子どもたちを見守ってくれる場所です。下校時、早速ヤマボウシの木を見て…「いつ咲くのかなあ」と友だちと話す姿がありました。



高学年は、校庭西の松林の中に「ブナ」の木2本を植樹しました。ブナやヤマボウシは子どもたちの「実がなる木を植樹したい」との声からスタートしました。ブナは、「森の女王!」というお話もお聞きしました。大人になって自分の手で植樹した木の成長を見た時、どんな気持ちになるのでしょうか…

今回の植樹用の木を選定するにあたり、地域の森林インストラクターの皆さんや造園業の皆さん等に変にお世話になりました。ありがとうございました。